

各位

2025年10月30日
野村不動産ホールディングス株式会社

リリースカテゴリ：IR 情報

2026年3月期 第2四半期連結決算のお知らせ

野村不動産ホールディングス株式会社（本社：東京都港区 代表取締役社長：新井 聡）は、本日、2026年3月期 第2四半期連結決算（2025年4月1日～2025年9月30日）を確定しましたので、お知らせいたします。詳細については、「2026年3月期 第2四半期決算短信」、「2026年3月期 第2四半期決算説明資料」を合わせてご参照下さい。

■主な内容（決算説明資料より抜粋）

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要（連結）

① 決算概要

2026年3月期
第2四半期実績

- ✓ **売上高 3,977億円（前年同期比+164億円、4.3%増）**
✓ 増収の主な要因は、都市開発部門の収益不動産の売却額の増加
- ✓ **事業利益※ 607億円（同△82億円、12.0%減）**
✓ 減益の主な要因は、住宅部門の分譲の利益額の減少
- ✓ **親会社株主に帰属する中間純利益 313億円（同△111億円、26.2%減）**
✓ 減益の主な要因は、浜松町ビルの建替に向けた建物簿価の減損損失の計上

2026年3月期通期
業績予想、配当予想
(期初時点から変更なし)

- ✓ **2025年4月24日に発表した通り、過去最高売上高・最高益、14年連続増配を見込む**
✓ 業績予想は、売上高 9,400億円（前年同期比+1,823億円、24.1%増）、
事業利益※ は1,350億円（同+98億円、7.9%増）、
親会社株主に帰属する当期純利益 750億円（同+1億円、0.2%増）
- ✓ 配当予想は、年間配当金1株当たり 36.0円（前期比+2.0円）、
配当性向 41.1%

※ 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外部門におけるプロジェクト会社(不動産の保有・開発を主としたSPC等)の持分売却損益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved 3

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要（連結）

あしたを、つなぐ 野村不動産ホールディングス

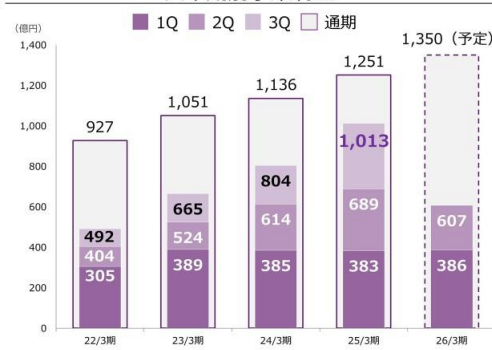
② 連結決算概要

- ✓売上高は3,977億円（前年同期比+164億円）、事業利益は607億円（同△82億円）、親会社株主に帰属する中間純利益は313億円（同△111億円）。
- ✓浜松町ビルの建替に向けた減損等で特別損失を計上。3Qには、解体費用等として139億円を計上予定。

連結損益計算書

(単位：億円)	25/3 2Q 実績 ①	26/3 2Q 実績 ②	増減額 ②-①
売上高	3,813	3,977	+164
営業利益	683	571	△111
持分法投資損益	2	28	+26
企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費	4	7	+2
事業利益 ※1	689	607	△82
営業外収益	6	32	+26
営業外費用	93	96	+3
経常利益	596	508	△88
特別利益	—	—	—
特別損失	9	68	+58
法人税等	161	126	△35
親会社株主に帰属する中間純利益	425	313	△111
1株当たり中間純利益（円）※2	49.19	36.48	△12.71
1株当たり配当金（円）※2	16.50	18.00	+1.50

四半期別事業利益



※1 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外部門におけるプロジェクト会社(不動産の保有・開発を主としたSPC等)の持分売却損益
 ※2 2025年4月1日に実施した株式分割（5分割）を踏まえ、遡り調整（分割前金額÷5）した金額を記載

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved 4

1. 2026年3月期 第2四半期決算概要（連結）

あしたを、つなぐ 野村不動産ホールディングス

③ 部門別決算概要

- ✓住宅部門は計上戸数の減少により、海外部門は前期1Qに大型住宅分譲プロジェクトを計上した反動により、減収減益。
- ✓都市開発部門は、収益不動産売却が増加した一方、BLUE FRONT SHIBAURAの開業費用等の発生により、増収減益。

部門別損益計算書

(単位：億円)	25/3 2Q 実績 ①	26/3 2Q 実績 ②	増減額 ②-①	主な増減要因
売上高（連結）	3,813	3,977	+164	
住宅部門	1,861	1,794	△67	住宅分譲の計上戸数の減少
開発部門	1,095	1,305	+210	収益不動産の売却額の増加
海外部門	84	20	△63	前期1Qでベトナム大型物件を計上した反動による減少
資産運用部門	76	76	+0	
仲介・CRE部門	263	301	+37	リテール・ミドル・ホールセルの売買仲介取扱高の増加
運営管理部門	514	598	+84	管理件数、受注工事の増加
その他・調整額	△82	△120	△37	
事業利益（連結）※	689	607	△82	
住宅部門	259	209	△49	住宅分譲の粗利益の減少
開発部門	265	239	△25	BLUE FRONT SHIBAURAの開業費用等の発生
海外部門	40	9	△31	前期1Qでベトナム大型物件を計上した反動による減少
資産運用部門	48	49	+0	
仲介・CRE部門	78	94	+15	リテール・ミドル・ホールセルの売買仲介取扱高の増加
運営管理部門	45	56	+11	管理件数、受注工事の増加
その他・調整額	△47	△51	△4	

※ 事業利益 = 営業利益 + 持分法投資損益 + 企業買収に伴い発生する無形固定資産の償却費 + 海外部門におけるプロジェクト会社(不動産の保有・開発を主としたSPC等)の持分売却損益

©Nomura Real Estate Holdings, Inc. All rights reserved 5

(参考資料)

[2026年3月期 第2四半期決算短信](#)

[2026年3月期 第2四半期決算説明資料](#)

【お問い合わせ窓口】

野村不動産ホールディングス株式会社 コーポレートコミュニケーション部 IR 課
 TEL 03-6381-7243 MAIL : nrehd-ir@nomura-re.co.jp